

会 議 録

1 会議名	平成21年度第4回宇都宮市上河内自治会議
2 開催日時	平成21年7月23日(木) 午前10時00分～ 11時58分
3 開催場所	宇都宮市上河内地域自治センター 大会議室
4 出席者	<p>【委員】江連俊, 太田正, 手塚敏子, 古橋悟一, 江連功, 小野久男, 柏木聖子, 神山光男, 北見和弘, 北見幸夫, 鈴木幸男, 手塚道子, 福島照喜, 横塚境, 和田春海, 小林和美, 櫻井清一, 佐藤きよ子, 藤井直和</p> <p>【事務局】上河内地域自治センター所長, 地域経営課長, 地域づくり課長, 保健福祉課長, 産業土木課長, 地域経営課職員</p>
5 公開・非公開	公開
6 傍聴者数	<p>【傍聴者】なし</p> <p>【記者】なし</p>
7 会議経過	<p>1 開会</p> <p>2 協議事項 「合併市町村基本計画の執行状況」の答申について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>

1 開会	
第4回宇都宮市上河内自治会議開会	
2 協議事項 「合併市町村基本計画の執行状況」の答申について	
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議を持って答申書を取りまとめ, 来月市長に提出する。 ・前回, 『「魅力ある北部地域の拠点」づくりに向けて』については, 提案書としたが, 自治会議としての意思を示し, 市の行政に反映させていくために, よりインパクトがあるものとして, 答申書に盛り込むこととしたいが, よろしいか。
全委員	(異議なし)
会長	・それでは内容について事務局から説明願う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議の意見を踏まえ, 答申書の素案を作成した。 ・主な修正点は, 13の主要事業について, 「進捗状況」と「留意点」の小見出しを付けた。また, 執行状況については, より具体的に示して欲しい

	との意見があったことから、執行状況が示されている事業は表を用い記載した。
委員	・昨年までの答申書の形式とは少し異なるが、進捗状況に表を用いるなど、内容が分かりやすい。また、委員の意見を十分反映していると思う。
委員	・答申書（素案）の生涯学習センター整備事業の中に「機能性の高い、利用しやすい施設」、農産物直売所等整備事業の中に「本庁と上河内地域自治センターが連携して、地域の現状を把握する」とあるが、事務局として、利用しやすい施設とするための具体的な内容や考えを持ったうえで記載しているのか。
事務局	・今後の検討課題であり、現状では具体的なものは持っていない。
委員	・無いのであれば仕方がない。
会長	・事業を執行するのは担当課になるが、具体的な内容は、今後、広く地域住民の意見を聞くなどして、自治会議でも十分に議論していかなければならない。 ・その他、13事業の答申内容について何か意見はあるか。
全委員	(意見・質問なし)
会長	・13事業の答申内容については承認をいただいたこととさせていただく。 ・その他、文言等の内容の本質に関わらない部分の微調整については、一任していただきたいが、よろしいか。
全委員	(異議なし)
会長	・それでは次に、「魅力ある北部地域の拠点」づくりに向けてについて事務局から説明願う。
事務局	(大型商業施設は資料の周辺状況図を基に、国県道整備は資料の主要地方道藤原宇都宮線を基にこれまでの経過、概要を説明)
会長	・大型商業施設の誘致に関しては、前回、前々回の答申では提案という形で示した。しかし実現するには、その前提となる都市計画法というハードルを越えるために、宇都宮市の都市計画マスタープランに載せていかなければならないことから、具体化を図るための条件を明確にした内容となっている。
委員	・旧町から新市に引き継いだ事業については概ね順調に実施されているが、大型商業施設は合併時から進んでいない。また、「モラージュ上河内」は合併時、業者の事業計画の中では上位に位置していたが、現在は下位になっていると聞いている。答申を市長へ渡す時に、会長から市長へ大型商業施設を推進するよう述べてほしい。
会長	・自治会議で大型商業施設を推進していきたいとの意思統一を図ることが

	<p>できるならば、市長にもその旨、伝える。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・前回、大型商業施設についての詳細な情報が無かったことから反対意見を述べてしまった。大型商業施設が実現すれば人が集まると思うが、将来の人口減少、経済状況の悪化などを考えると、もう少し慎重に議論したほうがよいのではないか。 ・ネットワーク型コンパクトシティとは具体的にはどういったものか。 ・全体的な答申の構成については、見やすくなっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は過去に、ショッピングセンターの誘致に関わったことがある。誘致に際しては、従業員は地元住民を採用することなど、業者へ条件提示を行った。宇都宮市が業者へ条件提示が行えるか分からないが、1つの手法として参考にしていきたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク型コンパクトシティについて事務局から説明願う。
事務局	<p>(第5次宇都宮市総合計画概要版の抜粋によりネットワーク型コンパクトシティについて説明)</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの策定に向けて、パブリックコメントを行い、地域の意見を吸い上げている。その原案ではネットワーク型コンパクトシティの考え方に基き、この地域は上河内中里周辺地区として位置づけられ、地域交流拠点としている。問題は、都市計画法上の本則の枠内であるのか、例外として認められている地区計画制度に載せて、従来と同じような計画を拠点形成として盛り込んでいくのかなど、その規模や中身である。 ・現状で事業者側がどのようになっているか事務局として情報提供できるものはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しい状況は入っていないが、把握している範囲では、業者の事業順位は下がっているが、止めるまでにはいたっていないと聞いている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に大型商業施設が必要かどうか、自治会議として確認する必要がある。 ・大型商業施設ができることにより、雇用の創出や都市間交流が図られることから、上河内地域のみならず、近隣地域の活性化につながる。また、スマートICがフルインター化し、1,000人の住居人口を見込む中里原土地区画整理事業も完了すれば、宇都宮市北部の地域拠点としてふさわしい地域となる。 ・法改正などにより先細りな感じではあるが、火が消えないうちに自ら手をおろすことはあってはならない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設が都市計画マスタープランの中に入っていないと、誘致す

	<p>るのは困難であり，都市計画マスタープランの中に入っていれば，今すぐにできなくても，将来，経済が好転したときなどに展望が開けてくる。</p>
会長	<ul style="list-style-type: none"> この地域に大型商業施設が必要なのかのどうかの自治会議としての意思確認と，必要であればどのように具体化していくか考えていかなければならない。 過去の2回の答申では，必要があるということで盛り込んできたが，今回は必要であるという意見と，慎重に進めたほうがよいとの意見があり，考え方に温度差がある。どのように取り扱うか意見をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 過去の2回の答申の中では，先は見えないが，将来に備えて盛り込んでいこうというものだった。地域としては必要性があると思うので引き続き答申に盛り込んでもらいたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 栃木県下で一番簡単に高速道路に入れるのは，上河内スマートICであり，アメリカと同様に高速を使ってスーパーに行くようになる時代がきた場合，最もよい条件になるのではないか。 上河内地域の大型商業施設の推進に際しては，上河内地域の結束を強め内容のあるものとしてまとめていく必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 行政側もそうだが，自治会議としての姿勢，決意についてご指摘いただいたものと思う。他に意見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 宇都宮ICから上河内地域まで10～13分と大変に地の利がよい地域であり，上河内スマートICがフルインター化すれば，アクセスは更に良くなり，北部地域の拠点として最もふさわしい地域となる。このようなことから，大型商業施設の開発のみならず，拠点としての開発が必要である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> スマートICと大型商業施設がある那須高原などを視察し，設置，開発前後での交通状況や商店会との関係など，実態調査する必要がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な提案をいただいた。大型商業施設については従来の経緯，地域の合意に基づき，答申の一項目として掲げていく。また，実現に向け，都市計画法上の取り扱い，都市計画マスタープランの位置づけを前段のハードルの問題として提起していき，その他の問題は自治会議で引き続き議論していくということによろしいか。
全委員	(異議なし)
会長	<ul style="list-style-type: none"> 国県道について意見はないか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 上河内スマートICから藤原線への直接的なアクセス道の整備を盛り込んでもらえないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 既存の整備が進んでいるため，会長と調整し，対応する。

会長	・合併市町村基本計画における主要事業の推進に関わる13の主要事業と、「魅力ある北部地域の拠点」づくりに向けて、今回協議いただいた内容で答申を行うことでよろしいか。
全委員	(異議なし)
3 その他	
会長	・「3 その他」について各委員から意見を求める。
全委員	(意見・質問なし)
会長	・事務局では何かあるか。
事務局	・答申の日程であるが、8月7日金曜日に自治会議を代表して、太田会長と神山副会長に出席していただき、市長に答申を行う。 ・第5回以降の自治会議については、先進地視察などを含め、地域のまちづくりに関する施策について協議いただく予定である。
会長	・以上を持って、第4回宇都宮市上河内自治会議を終了する。